

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会会報 143 号

彩の国環境ボランティア体験事業の実施

NPO 法人和光・緑と湧き水の会 代表理事 高橋絹世 048-462-9912

数年前から進めてきた夏休み中の小中学生の環境ボランティアを受け入れて、

- 当会の日常活動の一端を体験してもらうことになりました。

今年は、3か所のフィールドで4日間の里山保全体験者を募集したところ、中学生13名の応募があり、環境ボランティアへの理解が深まりつつあると感じました。当会のそれぞれのフィールドで、早速活動に協力してもらいました。このような活動がきっかけとなり、和光市の湧水や緑地の大切さを知ってもらい、若い人たちが将来保全に携わっていただけるよう、特徴的な自然環境を伝え、保全活動に協力してもらいました。

7月24日には、白子湧水群の富澤湧水地で湧水の仕組みを観察し、湧水の水量測定や水質調査を行い、その後水路周辺の保全活動を行いました。

7月25日は、樹林公園の松移植地で、松幼樹の保全のための周囲の草刈りを行いました。大変暑い時で、熱中症には十分気を付け、水分補給や休憩をはさみ、楽しくボランティア体験ができるよう配慮して行いました。活動を通して中学生との交流も進みました。このボランティア体験を夏休みの自由研究課題にしている人もいて、参加者に役立つ体験やお話となったようです。後半の2日間の活動は、8月末にお伝えします。

7月24日
白子湧水群
湧水の仕組みや水質
水路などの
保全
6名参加



水路でサワガニがお出迎え pHメーターで調査 セキショウを取り水路を広げる



湧水利用の遺構を保全 周辺の草刈りも重要な作業 コミセンで休憩・お茶と軽食で

7月25日
樹林公園
松移植地の
保全
6名参加



男子5名、女子1名参加 枎の木の前木の実の紹介 松の幼樹が元気に育つように



東屋で休憩中環境のお話 草が刈取られ、元気な松の幼樹が現れました。暑い中お疲れ様